

第45回 The 45th

近畿作業療法学会

Kinki Occupational Therapy Congress

あなたらしい
チャレンジ!
作業療法とは?
聞いて語って考えよう



会期

2025年6月1日(日)

会場

神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B号館

学長

柴田 八衣子 兵庫県立リハビリテーション中央病院

主催

近畿作業療法士連絡協議会

担当

一般社団法人 兵庫県作業療法士会



第45回

近畿作業療法学会

The 45th Kinki Occupational Therapy Congress

チャレンジ！聞いて語って考えよう あなたらしい作業療法とは？

会期 2025年6月1日(日)

会場 神戸学院大学ポートアイランドキャンパスB号館

学会長 柴田 八衣子
兵庫県立リハビリテーション中央病院

主催 近畿作業療法士連絡協議会

担当 一般社団法人 兵庫県作業療法士会

後援 兵庫県 神戸市
神戸新聞社 サンテレビ
兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会
兵庫県医療職団体協議会（以下10団体）
兵庫県看護協会 兵庫県理学療法士会
兵庫県言語聴覚士会 兵庫県薬剤師会
兵庫県栄養士会 兵庫県介護支援専門員協会
兵庫県臨床検査技師会 兵庫県臨床工学校士会
兵庫県歯科衛生士会 兵庫県放射線技師会（順不同）

第45回 近畿作業療法学会 運営事務局

兵庫県立リハビリテーション中央病院 リハビリ療法部内

〒651-2181 兵庫県神戸市西区曙町1070

E-mail: 45kinki_ot_hyogo@ot-hyogo.or.jp

INDEX

学会長挨拶	1
代表幹事挨拶	2
祝　　辞	3
会場アクセス・会場案内	5
参加者の皆様へ	6
座長の皆様・発表者の皆様へ	8
日　程　表	10
プログラム	11
近畿作業療法士連絡協議会表彰式	17
学会長講演	18
特別講演	19
教育講演	21
シンポジウム	23
スピーチセミナー	29
他職種公開講座	30
一般公開講座	32
近畿作業療法士連絡協議会 連携6事業報告	33
一般演題(口述)	35
一般演題(ポスター)	65
第45回近畿作業療法学会 学会組織	92

学長挨拶

第45回近畿作業療法学会の 開催にあたって

第45回近畿作業療法学会
学長 柴田 八衣子



この度、第45回近畿作業療法学会の学長を拝命いたしました兵庫県立リハビリテーション中央病院の柴田八衣子です。

近畿作業療法士連絡協議会は1991年に発足し、近畿二府四県（大阪、京都、奈良、和歌山、滋賀、兵庫）の作業療法士会が会員を対象として、持ち回りで年1回、「近畿作業療法学会」を開催してきました。この学会は、前団体である近畿地区作業療法士連絡協議会から引き継がれ、今年で45回を迎えます。

そして、2025年は一般社団法人兵庫県作業療法士会が担当となり、神戸で開催することになりました。

今回の学会テーマは、「チャレンジ！ 聞いて語って考えよう あなたらしい作業療法とは？」としました。

私たち作業療法士は、リハビリテーション専門職として、日々の臨床で対象者との関わりを通して、自分が行う作業療法と向き合っているのだと思います。ときに作業療法士としての考え方や役割の捉え方は、その作業療法士によって少しずつ異なっているのかもしれません。

このテーマに込める思いは、参加者である作業療法士自身が本学会で報告される作業療法実践を主体的に聞き、自分の考えを語る、その対話（相互交流）の中で自分の作業療法を深める学びの場となって欲しいというものです。本学会を自分自身の作業療法について『改めて問い直し、自ら考え、発見する、そのような探究の時間』として活用してもらうことで、新たな一歩を踏み出すきっかけ、つまり挑戦（チャレンジ）への架け橋にしてほしいという願いを込めています。

また、近畿作業療法士連絡協議会は、近畿の作業療法士の学術研鑽・人材育成・広報啓発・教育研修・災害支援などにも注力しています。対象者一人ひとりの暮らしを支え、人生を豊かにする効果的な作業療法の提供のために、必要な臨床実践や研究の報告などの新たな知見に触れ、学会という場での交流を通して、参加される皆様と共に成長できる機会となれば幸いです。

多くの情報に接し、より良い作業療法実践や研究のためのアイデアを持ち帰ることのできる学会にするべく、関係者一同準備を進めております。

爽やかな風を感じる季節、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

代表幹事挨拶

第45回近畿作業療法学会を祝して

近畿作業療法士連絡協議会
代表幹事 西井 正樹



このたび第45回近畿作業療法学会が柴田八衣子学会長のもと、兵庫県士会と会員の皆様の協力によって企画・開催されますこと、皆様の情熱の賜物であると感じ、厚く御礼を申し上げます。

本学会のテーマは「チャレンジ！　聞いて語って考えよう　あなたらしい作業療法とは？」です。プログラムには、特別講演・シンポジウム・教育講演・公開講座・一般演題など1日開催の学会とは思えないほどの多岐にわたるプログラムが用意されています。このプログラムは、それぞれの専門分野で働く作業療法士の期待に応えてくれるものだと確信しています。

さて、2020年に端を発した新型コロナウイルス感染症が、世の中の仕組みを大きく変化させました。ようやく落ち着きを見せ始め、昨年より近畿作業療法学会は対面開催を再開いたしました。本学会でも対面開催で行えることの喜び、まさに学会テーマに沿うかの如く、直に聞いて、直に語ってディスカッションをする機会を設けていただきました。日ごろの作業療法（臨床）をぜひ自分の言葉で語って、考えてみる機会にしてください。本学会は2025年に開催されますが、以前より「2025年問題」という医療・介護の節目の年となります。医療・介護分野だけでなく、インフラ・物流・人材確保・教育・少子化など関連分野が軒並みこの問題に直面しています。このような社会情勢の中、本学会を次の10年の第1歩として、近畿各士会はひとつなり、この難局を乗り越えていかなければなりません。そして、私たち作業療法士がこの激動の日本社会にどのような役割を担う人材になるのかビジョンを明確に持ち、その実現に向けて行動する機会にしていただければ幸いです。

最後になりましたが、柴田八衣子学会長をはじめ、兵庫県士会ならびに近畿各士会の皆さまのご尽力に敬意を表するとともに、学会に参加されました皆様のご健勝とご多幸、ならびに本学会が近畿の作業療法士の発展に寄与することを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

祝　辞

第45回近畿作業療法学会の 開催に寄せて

一般社団法人 日本作業療法士協会
会長 山本 伸一



第45回近畿作業療法学会を迎えるにあたり、心からお祝いを申し上げます。

近畿作業療法士連絡協議会は1991年に発足しております。そして近畿作業療法学会は、近畿二府四県（大阪、京都、奈良、和歌山、滋賀、兵庫）で開催してこられました。今年で45回です。これまでの先人の方々の弛まないご努力の積み重ねと存じます。今回の学会テーマは、「チャレンジ！　聞いて語って考えよう　あなたらしい作業療法とは？」。専用ホームページでは、柴田八衣子学会長の思いが伝わってきます。「参加者である作業療法士自身が本学会で報告される作業療法実践を主体的に聞き、自分の考えを語る、その対話（相互交流）の中で自分の作業療法を深める学びの場となって欲しい。」とございます。きっと会場全体が熱い議論となるでしょう。

2024年度における日本の有資格者数は、118,471名。（本会会員は、63,175名）その資格者数は右肩上がりになっています（男女差については、男性38.8%・女性61.2%、平均年齢は男性 36.4歳・女性35.6歳〈2022年度調べ〉）。

昭和41年、日本の作業療法士は22名からのスタートでございました。第3の医学と呼ばれた「リハビリテーション」。未来に向かって、意気揚々の船出だったと推察いたします。しかしながら、様々な社会情勢や医療状況等から順風ともいかない時期もあったでしょう。先人の諸先輩方はそれらを乗り越え、「今」を構築していただきました。私たちは、それを受け継ぎ、「未来」をさらに創り上げることが責務であります。

目指すのは「輝いている患者（利用者）さん、輝いている作業療法士」です。それを支える「魅力のある各都道府県作業療法士会と日本作業療法士協会」です。昨今、組織率が取り沙汰されておりますが、これこそが組織率を保つ源だと思います。

OTだからこそ、できることがあります。

現在、第4次5か年戦略を推進しております。臨床作業療法の最良の質と量の提供のために、これからも共に歩んでまいります。

結びになりますが、一緒に成長し、「今」があります。2040年問題に向かって、地域共生社会と共に創りあげるべく、手を取り合ってまいりましょう。第45回近畿作業療法学会の盛会と、近畿二府四県の作業療法士会、会員の皆様、所属機関、そして何より患者様、利用者様の未来を祈念して、私からの挨拶とさせていただきます。

今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

祝　辞

第45回近畿作業療法学会 開催によせて

一般社団法人 兵庫県作業療法士会
会長 長尾 徹



第45回近畿作業療法学会開催のお祝いを申し上げます。学会長のみならず、事務局、実行委員会の皆様が寝食を惜しんで準備されたことと推察します。皆様の熱意と努力があってこそ、このような素晴らしい学会が実現できたことだと思います。心より御礼申し上げます。

さて、近畿作業療法学会に際して、兵庫県作業療法士会長としてご挨拶申し上げます。

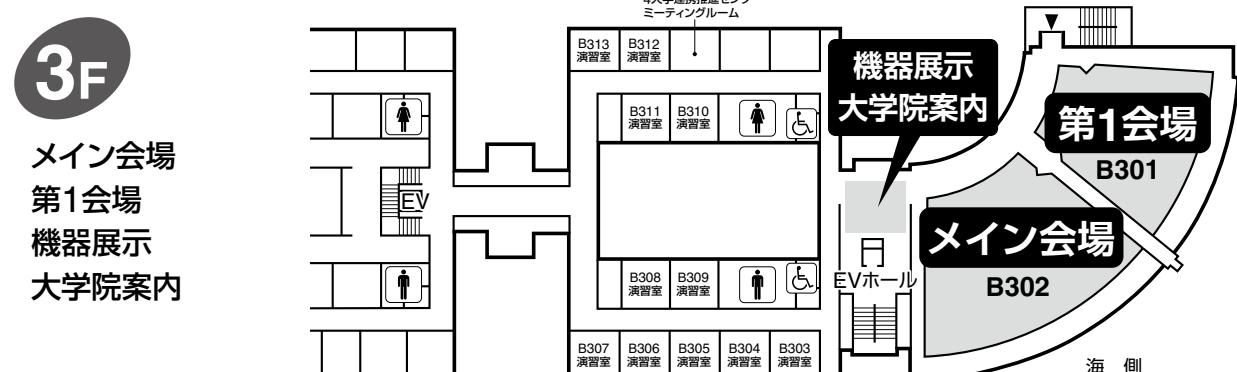
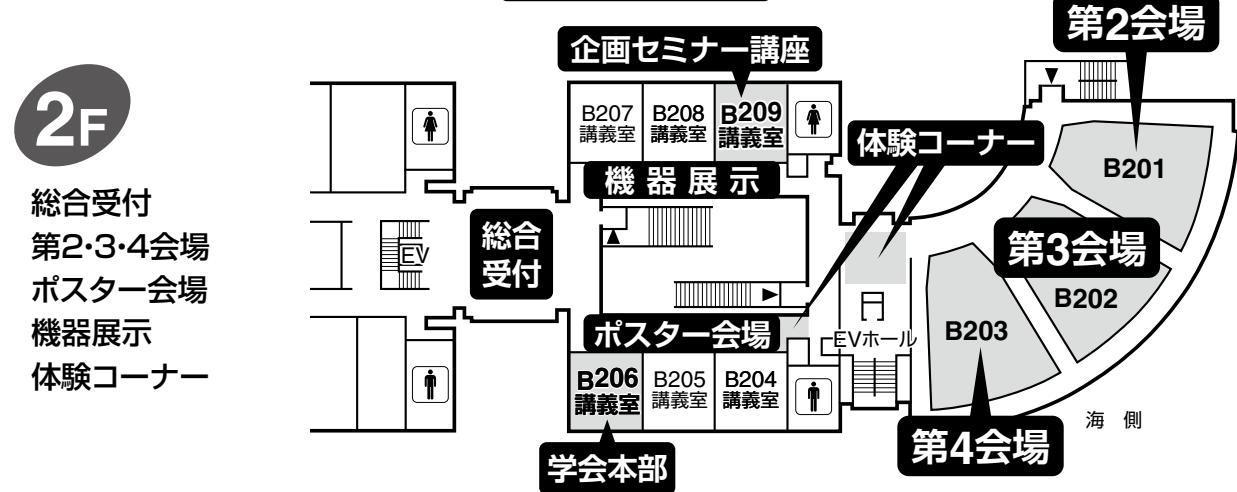
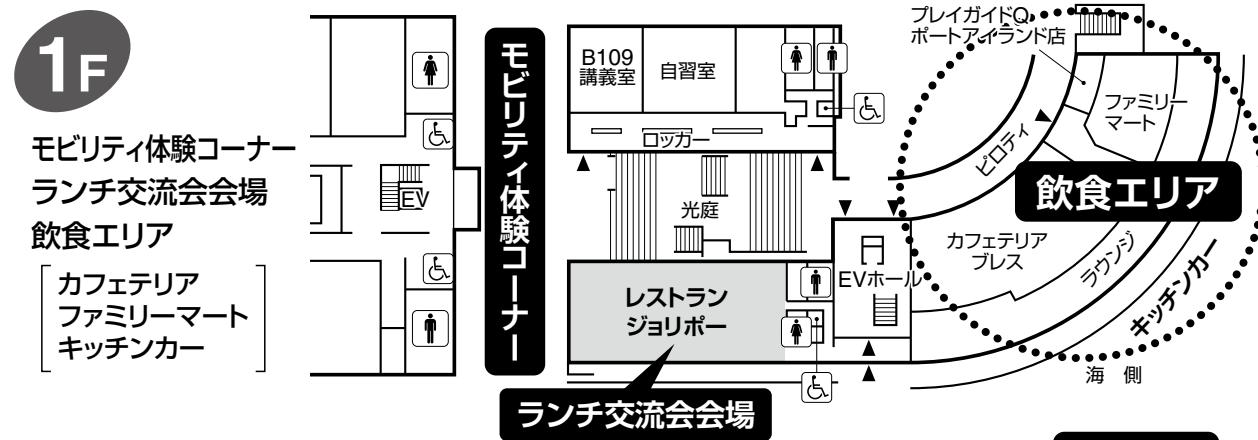
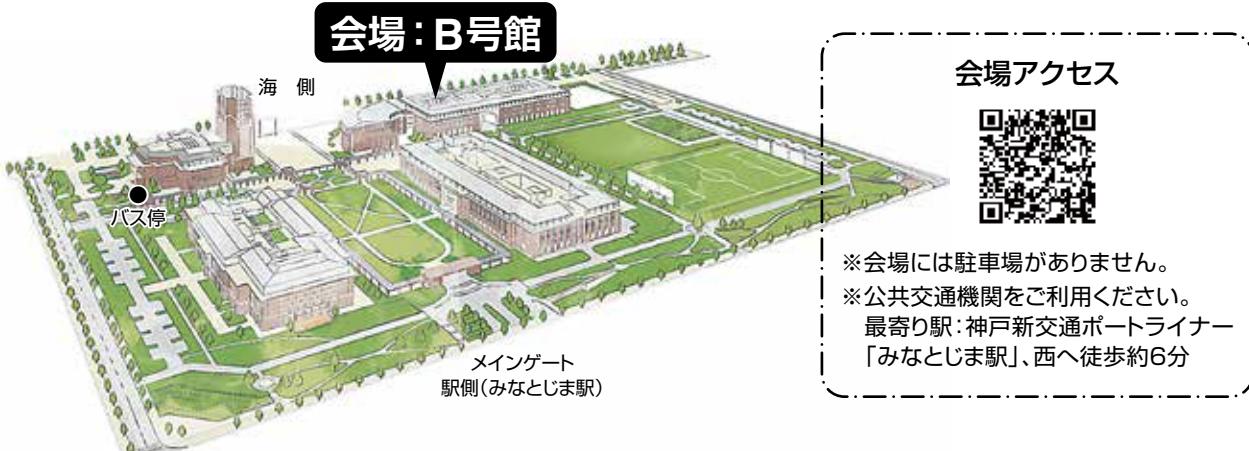
「近畿は1つ」という理念のもと、近畿地区の各府県士会が一丸となって活動してきたことは非常に意義深いことです。現在も2府4県の作業療法士会が協力し合い、多くの共同プロジェクトを推進しています。これらの活動は地域の作業療法の発展に大きく寄与しており、今後も継続していくことが期待されます。特に重要な事業に本学会があります。COVID-19で多くの研修会が中止となるなか、Web開催を体験し、昨年から対面開催が復活しました。対面開催による臨場感をもって交流できる学会として、本学会も貢献できることと自負しています。

また、本学会は養成校の卒業生にとって同窓生や同級生との再会の場として重要な機会です。懐かしさを感じるだけでなく、初心を思い出し、再び学びの意欲を高める場として活用できる貴重な機会です。

私の任期中において、兵庫県では第39回学会を野田和恵先生（神戸大学）が学会長を務められました。そして今回は第45回として柴田八衣子先生（兵庫県立リハビリテーション中央病院）が学会長を担ってくださいます。講演等には興味深い内容が準備されていますし、一般演題も予定数を超える応募がありました。

今後も日々の活動の報告や、情報交換が円滑に進み充実することを願っております。本学会が有意義なものとなり、作業療法の発展に寄与することを祈念いたします。

会場アクセス・会場案内



参加者の皆様へ

1. 学会参加費について

区分		事前登録参加費	当日参加費
1	正会員(近畿連絡協議会)OT	4,000円	5,000円
2	近畿外 OT 協会会員	5,000円	6,000円
3	非会員 OT ※1.2以外	10,000円	11,000円
4	他職種(OT 以外医療福祉教育関連)	5,000円	6,000円
5	作業療法士養成校の学生	500円	1,000円
6	一般(公開講座のみ)	無料(当日受付)	

- ・当日参加のお支払いの際にはできる限りクレジットカードでのお支払いにご協力ください。
- ・参加登録後の返金・キャンセルは受け付けておりません。
- ・正会員(近畿2府4県の各作業療法士会会員)の方々は、会員証や会費納入時に届くシール、振込の控えや振替履歴画面など「会員」が証明できるものをお忘れなくご持参いただき、各士会受付でご提示ください。
会員が証明できない場合は非会員 OT の扱いになりますので、あらかじめご了承ください。
- ・近畿外 OT 協会会員の方は、日本作業療法士協会会員証(OT 協会 HP 会員ポータルサイトから印刷)を受付でご提示ください。
- ・他職種の方は、他職種であることを証明できるもの(国家資格証明のコピーや職場のIDカードなど)をご提示ください。
- ・学生の当日参加の方は、学生証をご提示ください。
- ・一般の方は、公開講座のみご参加頂けます。受付は12:30~行います。

2. 学会参加受付について

【受付会場】 B号館 2階 学生ラウンジ(会場図参照)

【受付時間】 6月1日(日) 9:00~16:00

【受付方法】 本学会 HP の「参加登録(オンライン(事前)登録)」からお申込み下さい。本学会では、ペイメントを用いての事前登録を基本とさせていただいております。

※4/28までに「事前登録」頂いた正会員 OT の方

4/28までに「事前登録」頂いた方には、事前(会期の約10日前)にプログラム集と一緒に参加証明書、ネームカードを送付します。送付した参加証明書、ネームカードを持参のうえ所属士会の受付にてご提示ください。ネックホルダーをお渡しします。

※4/29以降に「事前登録」頂いた正会員 OT の方

ペイメント登録時に発行された領収書を持参のうえ、各士会受付へお越しください。名札、ネックホルダーをお渡しいたします。

※「事前登録」頂いた正会員 OT 以外の方

ペイメント登録時に発行された領収書と上記「学会参加費について」に記載している証明書を持参のうえ、該当する受付(近畿外 OT 協会会員、非会員 OT、他職種など)へお越しください。名札、ネックホルダーをお渡しいたします。また、4/28までに登録いただいた方には、プログラム集もお渡しします。

※「当日参加」の方

上記「学会参加費について」に記載している証明書を持参のうえ、該当の受付にて参加費をお支払いください。当日参加のお支払いの際にはできる限りクレジットカードでのお支払いにご協力ください。

※「事前登録」頂いた作業療法士養成校の学生の方

各養成校の学校代表者が、事務局から入金確認後に送られてきたメール「学生参加申し込み・入金確認」を印刷し、学生受付へ持参ください。お申込み数の名札、ネックホルダーをまとめてお渡しします。また、4/28までに登録いただいた方には、プログラム集もお渡しします。

3. 会場内の注意事項

- 会場内では、名札の入ったネックホルダーを常時首から提げてください。

【撮影・録音について】

- 会場内での録音、写真・ビデオ撮影等は、撮影許可がされている一部ポスターを除き、著作権保護・患者様のプライバシー保護の理由により関係者用の記録用以外は固く禁止させていただきます。
- 本学会ではクローケを設けておりません。
- 会場およびロビーなどを含む館内は、禁煙です。

4. お子様と一緒に参加を希望される方へ

お子様連れでのご参加を歓迎致します（お子様の監督責任は保護者の方にお願い致します）。通常見せることのできない作業療法士としての姿をお子様に見てもらう機会になれば幸いです。なお、託児所、託児サービスの設置はございません。

5. 昼食について

会場内の飲食はできません。昼食は、1階飲食エリア（会場図参照）にてお取りください。

※ランチ交流会チケット（事前発売）をご購入された方

お申込み時の確認書を印刷、持参のうえ、参加受付の「交流会チケット交換受付」にてチケットと交換し、ご購入いただいた部の開始時間に1階「レストランジョリポー」受付にてお渡しください。

3部に分けた時間制です。各部で入れ替えをしますので、指定時間内にお食事をお取りください。

※会場内のレストラン、昼食場所について

当日、1階のカフェテリアプレスにて昼食、ファミリーマート、キッチンカーにてお弁当等を販売しております。ご利用ください。

※持ち込まれた食事等のゴミは、各自でお持ち帰りいただくようお願いします。

座長の皆様へ

1. 学会受付で参加受付を済ませた後に、同じ受付フロアの座長受付にて受付を行ってください。
2. セッション開始10分前までに、ご担当会場にお越しください。
3. プログラムの進行に十分ご配慮いただきますよう宜しくお願ひいたします。また発表の形式につきましては以下を参照していただき、円滑な進行となりますようご協力をお願いいたします。

発表者の皆様へ

【利益相反の開示】

第45回近畿作業療法学会では、演題発表時に、演題発表に関連する企業等との利益相反 (Conflicts of Interest : COI) の有無および状態について申告することを義務づけます。

発表者は以下の方法で、利益相反について掲示してください。

〈学会発表における利益相反の掲示方法〉

- 口述発表は演題名の次(2枚目)のスライドで開示すること。
- ポスター発表はポスターの最下部に開示すること。

利益相反のスライド見本につきましては、HPに記載されているURLよりダウンロードしてください。

一般演題【口述発表】

1. 口述発表の環境・手続き

- 1) 会場でご用意しておりますパソコンのOSおよびアプリケーションは以下のとおりです。
①OS : Windows 11
②アプリケーションソフト : Microsoft 365 Power Point
- 2) フォントはOS標準※のみご使用ください。
※ MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman
- 3) 発表データはUSBメモリーにてお持ちください。バックアップとして予備のデータもお持ちください。
- 4) 再生の際のトラブルが多いことから、動画の使用はお控えください。
- 5) 作成されたデータは、作成PC以外で事前に動作確認をしてください。
- 6) 発表データの保存ファイル名は、「演題番号 - 氏名 - 所属」としてください。
(例: 01-1-兵庫太郎-〇〇病院)
- 7) メディアを介したウィルス感染の事例がありますので、最新のウィルス駆除ソフトで事前にチェックをしてください。
- 8) お預かりしたデータは発表終了後、事務局が責任を持って消去します。

2. 口述発表の受付

- 1) 学会参加受付を済ませた後、発表セッションの開始30分前までに、会場受付(発表会場に設置されたPCヘデータのコピー、動作確認)をお済ませください。会場受付の際は、会場スタッフにお声がけください。
- 2) 発表者受付ではデータの修正・変更はできません。

3. 口述発表方法

- 1) 発表するセッションの開始10分前に「次演者席」に着席してください。
 - 2) 発表および質疑応答は座長の指示に従ってください。
 - 3) 発表は全て Power Point による PC プレゼンテーションです。
 - 4) 発表は、演題上にセットされているモニター、キーボードを使用してご自身で操作してください。
 - 5) 演題発表時間は7分、質疑応答時間は3分です。発表終了1分前(1回)、終了時(2回)に合図をします。時間厳守にご協力ください。

一般演題【ポスター発表】

1. ポスターの受付・掲示・撤去方法

- 1) 学会参加受付を済ませた後、指定の時間に指定の場所へ掲示ください。
 - 2) ポスター掲示・撤去時間
午前(10:10~12:00)発表掲示；9:00~9:30→撤去；12:00~12:20
午後(13:00~15:00)発表掲示；12:20~12:50→撤去；15:30~16:00
※円滑な学会運営のため、時間内に完了いただきますようお願いします。
※撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは、学会側で撤去処分しますのであらかじめご了承ください。
 - 3) 学会では、以下のものをご用意します。

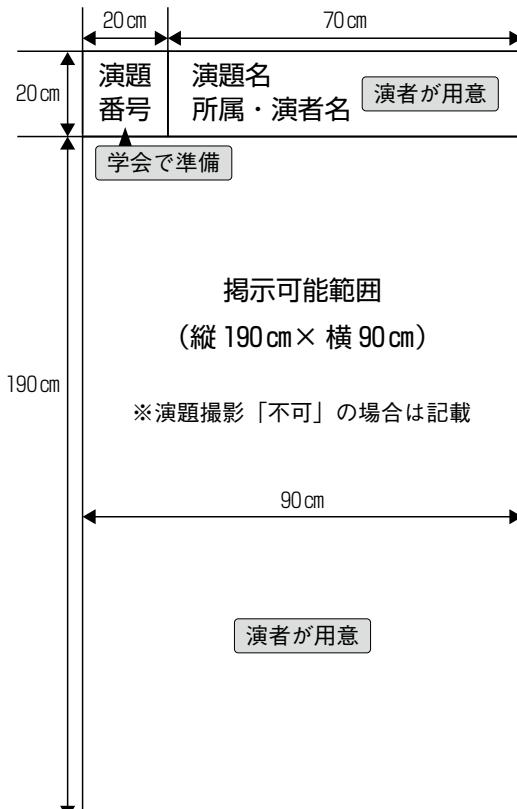
（3）子云では、以下の

- ・演題番号：掲示パネルの左上部に演題番号
 - ・画鋸：ポスターを貼り付けるための画鋸をご用意します。

4) ポスターフォームは、右図を参照し、演題名・所属・氏名・本文を作成してください。なお、文字サイズ、フォントの種類、図表・写真などの枚数は特に定めませんが、必ず指定のサ

2. ポスターの発表方法

- 1) 発表者は指定の時間内にポスター掲示をお済ませの上、所定の時間の開始10分前までに各自のポスター前で待機してください。
 - 2) 座長や発表時間は設けておりません。指定時間にポスター前に待機していただき、質問等への対応をお願いします。



日 程 表

メイン会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	ポスター発表	体験・展示
3階 B302	3階 B301	2階 B201	2階 B202	2階 B203	2階 西通路	1～3階
9:00 9:00～受付 (2階学生ラウンジ)				講師： 田中佐千恵 (信州大学) 林 良太 (関西医科大学) 金子隆生 (山形県立中央病院)	9:00～9:30 午前 ポスター 掲示	
9:30～9:50 開会式	チャレンジ! 聞いて語って考 えよう あなたらしい作 業療法とは?	9:50～10:50 口述発表 1 身体障害 1 O1-1～5 座長： 川浪弘一朗	9:50～10:50 口述発表 2 精神障害・ 発達障害 他 O2-1～5 座長： 田中陽一	9:50～11:00 精神障害 シンポジウム うつ病の方へ の作業療法 ～身体障害領域 と精神障害領域 の立場から～	10:10～11:00 ポスター 発表 1 身体障害 P1-1～7	10:00～ 15:00 体験 コーナー 1階 ピロティ *モビリティ 機器体験 2階 EVホール *キモノール *(一社)日本 作業療法士 協会スポー ツ振興部 2階 ポスター会場 *クリニック アート
10:00 9:50～10:20 学会長講演 講師：柴田八衣子 (第45回学会会長)	10:30～12:00 内部障害 シンポジウム 内部障害に対する 作業療法の最前線： 現状と新たな挑戦 講師：田代大祐 (神戸学院大学) 塙田繁人 (広島大学病院) 上谷耕平 (池田病院) 田尻寿子 (県立静岡がんセンター)	11:00～12:00 口述発表 3 身体障害 2 O3-1～5 座長： 松下卓也	11:00～12:00 口述発表 4 高齢期 他 O4-1～5 座長： 後呂智成	11:10～12:10 他職種公開講座 1 どんな人にも 「食べれた!」の 感動を届ける介 護食嚥下食～ 彩り・味・好みも あきらめない～ 講師： 川端恵里 (EatCareクリエイト)	11:10～12:00 ポスター 発表 2 身体障害・ 精神障害 P2-1～7	10:00 15:00 機器 展示 2階 東側通路
11:00 10:30～12:00 特別講演 1 ケーキの切れな い非行少年たち と頑張れない子 どもたち 講師：宮口幸治 (立命館大学)	12:10～12:40 近畿作業療法士 連絡協議会 表彰式	11:00～14:00 3部制 ランチ交流会(要事前申し込み) ～1階 レストランジョリボ～	11:00～14:00 昼食会場 1階 *カフェテリア・プレス *ファミリーマート *キッチンカー	12:00～12:20 午前 ポスター撤去 12:20～12:50 午後 ポスター掲示	12:00～12:20 午前 ポスター撤去 12:20～12:50 午後 ポスター掲示	10:00 15:00 大學院案 内 3階 EV ホール
12:00	12:40～12:50	11:00～14:00 スピー・セミナー 自分ごとに引き寄 せる!～認知症の ひととのかかわり～ 講師：中西誠司 (亀岡陽風荘) 森美佐江	13:00～14:00 口述発表 5 身体障害 3 O5-1～5 座長： 楠田耕平	13:00～14:00 一般公開講座 介護予防だ!全 員集合!～人生 100年イキイキと～ 講師： 塗田一雄 (介護老人保健施設リハ・神戸) 井上紳也 (神戸リハビリテーション病院)	13:00～13:50 ポスター 発表 3 精神障害・ 発達障害・ 高齢期・地域 P3-1～7	14:10～ 14:40 企画 セミナー 講座 2階 B209室 石川県パリ アフリーツ アーセンター の取り組み と能登半島 地震支援に ついて 講師： 坂井さゆり (NPO 法人 石川パリア フリーツアーセンター)
13:00 13:00～14:30 特別講演 2 脳と AI をつな いで、脳卒中後 の片麻痺上肢 障害を治す 講師：牛場潤一 (慶應義塾大学)	13:00～14:00 近畿連携6事業報告 災害支援対策事業 認知症支援事業 パリアフリー事業 OT自動車運転支援 ネットワーク事業 次世代リーダー育成 精神科作業療法ワーキング	14:20～15:50 教育講演 1 パーキンソン病に 対する作業療法 ～世界の動向から～ 講師： 高橋香代子 (北里大学)	14:20～15:50 教育講演 2 ロボット・ICT 技術の介護応 用におけるOT の役割 講師： 東 祐二 (一社)日本作業療 法士協会	14:10～15:10 口述発表 6 地域 他 O6-1～5 座長： 栗谷明至	14:20～15:30 他職種公開講座 2 運動が苦手な子 どもが楽しんで生 活できる社会に向 けて～作業療法 士が考えるDCD へのアプローチ～ 講師：東恩納拓也 (東京家政大学)	14:00～14:50 ポスター 発表 4 理論・基礎 研究・教育 P4-1～6
14:00	14:50～16:30 学会テーマ シンポジウム わたしのターニン グポイント ～あのときがあつ たから今がある～ 講師： 小川敬之 (京都橘大学) 竹林 崇 (大阪公立大学) 岩根達郎 (京都府立洛南病院)				15:30～16:00 午後 ポスター 撤去	
15:00						
16:00						
17:00	16:40～17:00 閉会式					

プログラム

学長講演

9:50～10:20 メイン会場(3階 B302)

座長：竹内 さおり(甲南女子大学 看護リハビリテーション学部)

チャレンジ！聞いて語って考えよう あなたらしい作業療法とは？

講師：柴田 八衣子 兵庫県立リハビリテーション中央病院

特別講演1

10:30～12:00 メイン会場(3階 B302)

座長：長倉 寿子(兵庫県立リハビリテーション中央病院)

ケーキの切れない非行少年たちと頑張れない子どもたち

講師：宮口 幸治 立命館大学 人間科学研究科

特別講演2

13:00～14:30 メイン会場(3階 B302)

座長：大庭 潤平(神戸学院大学 総合リハビリテーション学部)

脳とAIをつないで、脳卒中後の片麻痺上肢障害を治す

講師：牛場 潤一 慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科 教授

精神障害シンポジウム

9:50～11:00 第4会場(2階 B203)

[うつ病の方への作業療法～身体障害領域と精神障害領域の立場から～] 座長：田中 佐千恵(信州大学 作業療法学専攻)

近年のうつ病研究から作業療法に活かせること

シンポジスト：田中 佐千恵 信州大学 作業療法学専攻

精神科病院におけるうつ病患者への作業療法と心理社会的療法の併用

シンポジスト：林 良太 関西医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科

身体疾患に伴う抑うつ症状への作業療法の実践と課題

シンポジスト：金子 隆生 山形県立中央病院 リハビリテーション室 作業療法士

内部障害シンポジウム

10:30～12:00 第1会場(3階 B301)

[内部障害に対する作業療法の最前線：現状と新たな挑戦] 座長：田代 大祐(神戸学院大学 総合リハビリテーション学部)

呼吸器疾患に対する作業療法実践のエビデンス構築に向けて

シンポジスト：田代 大祐 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科

循環器作業療法～現状と今後の展開～

シンポジスト：塩田 繁人 広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 副部門長

腎不全患者への作業療法介入を考える～透析中リハビリテーションの現状と今後の課題～

シンポジスト：上谷 耕平 医療法人青仁会 池田病院 血液浄化センター 作業療法士

がんの作業療法～現状と今後の課題 多様性と進化にどのように対応していくか？～

シンポジスト：田尻 寿子 静岡県立静岡がんセンター

テーマシンポジウム

14:50～16:30 メイン会場(3階 B302)

[わたしのターニングポイント～あの時があったから今がある！～]

座長：長尾 徹(神戸大学 生命・医学保健学域 大学院保険学研究科)

柴田 八衣子(兵庫県立リハビリテーション中央病院)

認知症と私

シンポジスト：小川 敬之 京都橘大学 健康科学部 作業療法学科

学術を通した社会貢献活動と私

シンポジスト：竹林 崇 大阪公立大学 医学部 リハビリテーション学科

生きづらさと私

シンポジスト：岩根 達郎 京都府立洛南病院 リハビリテーションセンター総括 専門作業療法士(精神科)／精神保健福祉士

教育講演1

14:20~15:50 第1会場(3階 B301)

座長：高畠 進一(京都橘大学 健康科学部 作業療法学科)

パーキンソン病に対する作業療法～世界の動向から～

講師：高橋 香代子 北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻・教授、
北里大学大学院 医療系研究科・教授

教育講演2

14:20~15:50 第2会場(2階 B201)

座長：福元 正伸(兵庫県立福祉のまちづくり研究所)

ロボット・ICT技術の介護応用におけるOTの役割

講師：東 祐二 (一社)日本作業療法士協会

スピーチセミナー

13:00~14:00 第2会場(2階 B201)

座長：前谷 一旗(関西総合リハビリテーション専門学校)

自分ごとに引き寄せる！～認知症のひととのかかわり～

講師：森 美佐江 認知症当事者のご家族
中西 誠司 グループホーム亀岡陽風荘

他職種公開講座1

11:10~12:10 第4会場(2階 B203)

座長：筈沼 里味(伊丹恒生脳神経外科病院)

**どんな人にも「食べた！」の感動を届ける介護食嚥下食
～彩り・味・好みもあきらめない～**

講師：川端 恵里 EatCare クリエイト 言語聴覚士

他職種公開講座2

14:20~15:30 第4会場(2階 B203)

座長：若林 秀昭(児童発達支援センター 明石市立あおぞら園)

**運動が苦手な子どもが楽しんで生活できる社会に向けて
～作業療法士が考える DCD(発達性協調運動症)へのアプローチ～**

講師：東恩納 拓也 東京家政大学 リハビリテーション学科

一般公開講座

13:00~14:00 第4会場(2階 B203)

座長：小南 陽平(宝塚第一病院)

介護予防だ！全員集合！～人生100年イキイキと～

講師：塗田 一雄 (一財)神戸在宅医療・介護推進財団 介護老人保健施設 リハ・神戸
井上 紳也 (一財)神戸在宅医療・介護推進財団 神戸リハビリテーション病院

近畿作業療法士連絡協議会 連携6事業報告

13:00~14:00 第1会場(3階 B301)

司会：西井 正樹(近畿作業療法士連絡協議会 代表幹事)

災害支援対策事業 - 「災害対策事業報告」

森川 孝子 兵庫県作業療法士会

認知症支援事業 - 「近畿のつながりを活かした認知症支援事業」

森 志勇士 京都府作業療法士会

バリアフリー事業 - 「バリアフリー2024における作業療法の普及啓発活動」

河野 隆 奈良県作業療法士会

OT自動車運転支援ネットワーク事業 - 「第1回 OT ドライブフェス開催報告」

牟田 博行 大阪府作業療法士会

次世代リーダー育成 - 「各士会リーダーの役割」

西田 裕希 和歌山県作業療法士会

精神科作業療法ワーキング - 「当ワーキング発足の経緯と、『妙技研修』とは」

小川 泰弘 大阪府作業療法士会

企画セミナー講座

14:10~14:40 (2階 B209室)

座長：福島 京子(江井島病院)

石川県バリアフリーツアーセンターの取り組みと能登半島地震支援について

講師：坂井 さゆり 特定非営利活動法人 石川バリアフリーツアーセンター

体験コーナー

10:00~15:00 (2階 EV ホール・ポスター会場)

- (一社)日本作業療法士協会 スポーツ振興部
- キモノール
- クリニカルアート

電動モビリティ体験

10:00~15:00 (1階 ピロティ)

- 有限会社フジオート西日本支社
- 兵庫トヨタ自動車株式会社
- 株式会社セリオ

機器展示

10:00~15:00 (2階 東側通路・2・3階 EV ホール)

- 株式会社ニッシリ
- DUPLODEC 株式会社
- テクノツール株式会社
- 株式会社ケアウィル
- 株式会社テクノスジャパン
- 株式会社オレンジアーチ
- 株式会社レクア
- 株式会社 LIFESCAPES
- クックデリ株式会社
- 株式会社エスケーエレクトロニクス
- ダブル技研株式会社
- FrontAct 株式会社
- 株式会社カワムラサイクル
- ピジョンタヒラ株式会社
- イワツキ株式会社

大学院案内

10:00~16:20 (3階 EV ホール)

- 神戸学院大学 大学院
- 藍野大学 大学院
- 兵庫医科大学 大学院

ランチ交流会

11:00~14:00 (1階 レストランジョリポー)

参加者同士、講師、座長と一緒に、おいしいランチで楽しく語り合おう
(事前申し込みのみ)

(一社)日本作業療法士協会

12:40~12:50 第1会場(3階 B301)

新生涯学修制度説明

※2025年4月からスタートした制度の概要、受講の流れを説明します。

一般演題(口述発表)

口述発表1

9:50～10:50 第2会場(2階 B201)

[身体障害1]

座長：川浪 弘一朗(笛生病院)

O1-1 発達運動学に基づいた食事動作へのアプローチ

渡利 純也 公立那賀病院

O1-2 脳卒中後遺症者の麻痺側上肢の主観的な重さと ADL 改善の報告

鈴木 崇孔 医療法人芙蓉会 南草津病院

O1-3 多職種連携と地域資源の活用により中山間地域での独居と自動車運転を再開した脳卒中の事例

横山 幹史 医療法人社団和敬会 さんだリハビリテーション病院

O1-4 麻痺側上肢の参加に焦点を当てた超高齢脳梗塞患者に対する介入経験

谷岡 拓馬 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪ろうさい病院

O1-5 C5麻痺を呈した脊髄梗塞患者の家事動作再獲得を目指して代償動作に難渋した症例

竹内 鈴奈 医療法人社団英明会 大西脳神経外科病院

口述発表2

9:50～10:50 第3会場(2階 B202)

[精神障害・発達障害 他]

座長：田中 陽一(兵庫医科大学)

O2-1 希死念慮のあった COPD 患者に対する外来作業療法の経験

～日記を用いた達成感の共有により、不安感の軽減と主体的な作業参加を促せた事例～

佐野 菜緒子 きだ呼吸器・リハビリクリニック

O2-2 トラウマインフォームドケアの視点に基づいて、対人恐怖の軽減を支援した事例

金子 亜紀 医療法人栄仁会 生活訓練いろは

O2-3 脊髓炎発症により四肢麻痺を呈し選択的後根切除術を施行された症例に対する介入の経験

富沢 春風 奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター リハビリテーション係

O2-4 重症心身障害者における更衣動作がもたらす影響についての検討

若林 みどり サポートハウス ココロネ住吉

O2-5 認知症ケアチームによる認知症ケア教育・啓発の取り組み

～作業療法士の視点を活かした急性期認知症ケアに関するパンフレット作成と研修の効果検証～

山中 溪花 あらきクリニック

口述発表3

11:00～12:00 第2会場(2階 B201)

[身体障害2]

座長：松下 卓也(大阪けいさつ病院)

O3-1 「意味のある作業」の実践が自己効力感の向上と主体的な行動変容に繋がった重度運動麻痺症例

竹村 隆哉 公益社団法人信和会 京都民医連あすかい病院

O3-2 Shared decision-making にて書字と調理を目標とした症例に対し、ミラーセラピーを中心とした介入を行い満足度向上につながった一例

坂本 真由佳 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院

O3-3 両肩腱板断裂に非骨傷性頸髄損傷を合併した症例への作業療法介入に関する一考察

松永 唯希 医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院

O3-4 前立腺癌手術の麻酔導入時の心肺停止に対し PCPS, Impella を用いた補助循環後、長期間の集中治療を経過した患者に対して作業療法を実施した一例

濱田 茉里奈 大阪労災病院 中央リハビリテーション部

O3-5 受動的な運動療法から自己主導型学習に切り換え、セルフモニタリングのスキルが向上した初発心不全患者

田邊 明廣 奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター

口述発表4

11:00～12:00 第3会場(2階 B202)

[高齢期 他]

座長：後呂 智成(医療法人南労会 紀和病院)

O4-1 集団作業療法プログラム「ウクレレ OT」の実践と作業療法士の役割

今 かおり 社会福祉法人和悦会 デイサービスセンター加美北

O4-2 介護老人保健施設にて「お父さんの力になりたい」と家庭内の役割獲得に向けて MTDLP を活用し在宅生活を再開した事例

樋部 満建 尼崎医療生活協同組合 介護老人保健施設ひだまりの里

O4-3 多職種協働と申し送りの重要性の考察

～環境変化により BPSD が再燃した認知症高齢者の支援を通して～

北條 望 医療法人稻門会 いわくら病院

O4-4 回復期リハビリテーション病棟における食事への取り組み ～他職種との円滑な情報共有を目指して～

大西 彩葉 医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院

O4-5 園芸活動により生活意欲が向上し活動範囲が拡大した症例

南 勝也 医療法人誠人会 与田病院

口述発表5

13:00～14:00 第3会場(2階 B202)

[身体障害3]

座長：楠田 耕平(関西福祉科学大学)

O5-1 皮下出血に配慮して肩関節障害にアプローチを行った後天性血友病の一例

井上 慎一 神戸市立医療センター 中央市民病院

O5-2 両側 RSA 患者における急性期 OT 介入の1例

柴田 久美子 神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部

O5-3 「いつまでもボランティア活動を続けたい」

～生きがいの実現に向けて介入した超高齢の一症例～

岡本 真規子 兵庫県立リハビリテーション中央病院

O5-4 自動車運転再開支援を行った脳卒中患者の退院後の運転状況について

尾崎 友紀 医療法人南労会 紀和病院

O5-5 回復期リハビリ病棟における ADL を上げる時期のナッシュ均衡と階層的チープトークの考察

～脛骨高原骨折・ACL 損傷・膝蓋骨脱臼・PCL 付着部剥離骨折を同時受傷した一例～

福井 律 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院

口述発表6

14:10～15:10 第3会場(2階 B202)

[地域 他]

座長：栗谷 明至(琵琶湖中央リハビリテーション病院)

O6-1 就労支援における他職種連携での作業療法士の役割

大石 和磨 医療法人大植会 葛城病院

O6-2 福祉用具の新たな情報発信方法の確立 ～福祉用具掲載アプリ「YOGU(ヨーグ)」の開発～

岸本 健志 訪問看護ステーションおはあさ

O6-3 就労移行支援事業所の通所者における生活リズムの特徴と就労との関連性

～アクチグラフを用いた健常者との比較～

田中 寛之 大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科

O6-4 作業療法士の障がい者スポーツへの意識調査：作業療法士 76 名の調査から

浅井 康紀 神戸市立西神戸医療センター

O6-5 国際協力をを行う人道援助団体での作業療法士の役割

～母国での生活を配慮した関わりについて～

勝田 茜 佛教大学 保健医療技術学部 作業療法学科

一般演題（ポスター発表）

ポスター発表1

10:10～11:00 ポスター会場（2階 西通路）

〔身体障害〕

- P1-1** 全身状態の安定に時間を要した若年脳卒中患者に対し、発症75日後より回復期リハビリテーションを開始し運動麻痺の改善を認めた一例
後追 春香 医療法人協和会 協和会病院 作業療法科
- P1-2** デッサン人形を用いた介入により上肢機能の改善を認めた症例
前原 一仁 公益財団法人 淀川労働者厚生協会附属 西淀病院
- P1-3** 促通反復療法に単関節HALを併用し復職に至った事例
千郷 瑞貴 京都民医連中央病院
- P1-4** 作業療法介入プロセスモデルに基づき、課題指向型訓練の活用と箸補助具の作製により普通箸での食事が可能となった箸操作に焦点を当てた実践報告
藤野 祥二 医療法人康生会 淀川平成病院 リハビリテーション部
- P1-5** 更衣動作の各工程を詳細に評価する新たな尺度（Dressing Evaluation for Stepwise Scoring : DRESS ドレス）の開発と有用性の検討
中川 友紀 大阪人間科学大学 保健医療学部 作業療法学科
- P1-6** 予期不安が強い脳梗塞患者に対し、ADOC2活用により生活動作獲得と意欲向上を認めた一例
浦西 爽奈 地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター
- P1-7** 実物の食材を使用した職業動作訓練により自信が向上し復職へつながった事例
山田 菜緒 医療法人協和会 千里中央病院

ポスター発表2

11:10～12:00 ポスター会場（2階 西通路）

〔身体障害・精神障害〕

- P2-1** 表情が変われば心も変わる。家族支援からコミュニケーション能力が向上した一例
水口 由依 医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院 リハビリ療法部
- P2-2** 疼痛律動性と睡眠状態、身体活動量の関係性について
宮脇 莉子 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科
- P2-3** 左脳梗塞患者の運転再開における環境中心点視点の評価と介入の実践報告
岩本 健吾 地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター
- P2-4** 当院における自動車運転再開支援の取り組み～追跡調査もふまえて～
三宅 久美子 医療法人社団栄宏会 土井リハビリテーション病院 リハビリテーション科
- P2-5** 健常者における自動車運転の自己効力感に着目したWeb調査
一年代別分析から見えた高齢者の特徴ー
上町 彩夏 大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科
- P2-6** 軽度知的障害が入院中に発覚した方に対して面接と作業の振り返りを行う機会を多く持ち、退院及び就職を支援した事例
生賀 将弘 医療法人清楓会 楓こころのホスピタル
- P2-7** 入浴支援の強化
福島 京子 医療法人双葉会 江井島病院

ポスター発表3

13:00～13:50 ポスター会場（2階 西通路）

〔精神障害・発達障害・高齢期・地域〕

- P3-1** いじめから不登校そしてうつ病を発症した方の外出再開を目指した介入
佐多 直輝 訪問看護ステーション さんさん
- P3-2** 放課後児童クラブが組崩壊にいたる要因の分析
小林 隆司 兵庫医科大学大学院 リハビリテーション科学研究科

- P3-3** 認知症高齢者の座位姿勢に介入し、環境調整に難渋した事例
桑田 真友子 一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団 介護老人保健施設 リハ・神戸
- P3-4** 入院関連能力低下が独居生活を困難にする。今、作業療法士ができるることは
福井 恵 奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター
- P3-5** 地域在住高齢者における身体活動という言葉の認識 —内容分析を用いた質的研究—
小橋 美月 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科 医療リハビリテーション学専攻
- P3-6** 医療機関での限界を理解した、就労支援機関連携モデル
新田 勇二 医療法人社団六心会 恒生かのこ病院
- P3-7** タイ王国チェンマイ周辺在住高齢者の重要な生活行為 —KHCoderによる分析
山田 恭子 佛教学大学 保健医療技術学部 作業療法学科

ポスター発表4

14:00~14:50 ポスター会場(2階 西通路)

[理論・基礎研究・教育]

- P4-1** 価値に合わせた社会的環境の整備が食事摂取量改善に至った事例
松嶋 矩央 ひだか病院
- P4-2** 単純計算課題遂行中に音楽を聞くことによる影響についての研究
—音楽によってストレスは軽減されるのか—
大塚 恒弘 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科
- P4-3** 8チャンネルのフローモデルを応用した作業療法視点でのアプローチが心理状態および作業パフォーマンスに与える影響
岩野 翔太 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科
- P4-4** オンデマンド講義と対面講義の比較 一本校で実施した解剖学講義より—
大友 健治 学校法人福田学園 大阪リハビリテーション専門学校
- P4-5** 車椅子街歩きといきいき百歳体操への参加を通して
大学社会福祉学部・専門学校作業療法学生の認識からみた取り組みの意義の検討
赤堀 将孝 はくほう会医療専門学校 赤穂校
- P4-6** 精神科亜急性期病棟におけるクライシスプランの導入
深谷 直輝 社会医療法人杏和会 阪南病院

近畿作業療法士連絡協議会 表彰式

今年度より、近畿作業療法士連絡協議会では、本協議会における作業療法に貢献した方々を表彰することとなりました。本協議会の表彰式では、作業療法士の皆様の努力と献身を讃えると共に、地域社会への貢献を広く認識することを目的としています。

以下7名の方々が表彰されます(敬称略: 50音順)。

- 尼寺 謙仁 - 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第6回第42回近畿作業療法学会 学会長)
大瀧 俊夫 - 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第9回近畿作業療法学会 学会長)
大嶋 孝司 - 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第11回近畿作業療法学会 学会長)
長辻 永喜 - 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第14回近畿作業療法学会 学会長)
内山 正視 - 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第21回近畿作業療法学会 学会長)
宮内 吉則 - 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第28回近畿作業療法学会 学会長)
東條 秀則 - 長年にわたる近畿作業療法士連絡協議会運営への貢献(第37回近畿作業療法学会 学会長
近畿ブロック代表)

表彰式は、第1会場にて12:10より開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
本表彰式を通じて、近畿の作業療法の発展と共に、これから多くの人々に貢献していくことを願っています。
皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。